

昭和52年度

農林業関係業務実行計画

昭和52年4月

国際協力事業団

農林業計画調査部

農業開発協力部

林業開発協力部



昭和52年度 農林水産業関係業務実行計画目次

I. 調査団派遣計画	1
1. 農林業協力事業	1
2. 開発技術協力事業	6
3. 技術協力センター事業	8
4. 開発協力事業	9
5. 開発調査事業	11
6. 長期調査員派遣計画	15
II. プロジェクト運営計画	16
1. 農林業協力プロジェクト	16
2. 開発技術協力プロジェクト	32
3. 技術協力センタープロジェクト	36
4. 52年度機材供与予算および年間実行 計画額	38
III. 開発技術指導事業計画	39
1. 民間企業等技術指導	39
2. 現地技術者等受入研修	39

IV. 専門家の養成確保事業計画	40
1. 専門家の登録	40
2. 専門家の確保	40
3. 専門家の養成	40

(参考)

昭和52年度 農林水産業関係予算総括表	44
1. 昭和52年度 農林水産業関係予算	44
2. 昭和51年度 農林水産業関係事業費繰越 内訳表	49
3. 昭和52年度 管理費内訳表	56

国際協力事業団	
受入 月日 '84. 5. 25	1000
登録No. 077787	NPO AF



I. 調査団派遣計画

1. 農林業協力事業

案件名	調査の概要	前年度迄の経過	実施計画 予算額	日数及び 団員数	出発時期 (月)	備考
事前調査						
① ビルマ畜産開発	○ ランブーン地区の養鶏、養豚業の現状について調査を行い、協力の可能性についての検討	○ 51年11月 プロファイ	4,967	35日 5人	8 上	
② アセアン農業開発 プロファイ	○ アセアン諸国の農林業案件のプロジェクト・ファイディング		4,191	8日 9人	5 中	
③ パラグワイ林業開発	○ プロジェクト協力の構想及び可能性調査	51年11月 経済協力調査	6,491	27日 4人	9 中	
④ ブラジル林業研究	○ 林業研究についての可能性調査		4,471	35日 5人	12 上	
実施協議						
⑤ インドネシア家畜衛生	○ R/Dの取りまとめ、プロジェクト協力の発足を図る。	51年度 事前調査	10,975	25日 4人	5 中	
⑥ ビルマ畜産開発	○ 事前調査に引き続き行う。		11,120	25日 4人	12 上	
⑦ タイかんがい農業開発	○ R/Dの取りまとめ		10,884	25日 4人	7 上	
⑧ アフガニスタン稲作開発	○ 51年度のプロジェクトに基づき計画作成に必要な現地調査「ア」側との協議、我々の協力範囲、方法について検討	51年度 プロジェクト・ファイディング	11,390	25日 7人	7 下	
⑨ ウルグワイ野菜研究	○ 野菜の増産を図るための育種から営農に係る総合的改善計画	51年度 事前調査	12,618	25日 4人	12 上	

案 件 名	調 査 の 概 要	前 年 度 迄 の 経 過	実施計画 予 定 額 千円	日数及び 団 員 数	出 発 時 期 (月)	備 考
実施設計						
⑩ バングラディッシュ園芸研究	○ R/Dの取りまとめ、試験圃場の設計を行う。	○ 51年2月、8月に調査	23,400	60日 10人	8 中	
⑪ マレーシア水管理訓練計画	○ R/Dの取りまとめ	○ 51年3月 予備調査 52年2月 実施調査	29,133	60日 10人	6 中	
巡回指導						
⑫ ネパールジャナカプール 農業開発	○ 巡回指導	○ 48年 予備 50年～53年 巡回指導	2,052	21日 4人	2 中	
⑬ フィリピンカガヤン 農業開発	○ 業務進捗状況のレビュー及び協定へ移行に必要な基本計画の協議	○ 50年10月 実施計画 51年2月 実施設計(3%)	1,420	12日 3人	8 下	
⑭ インドネシア南スラウェシ 地域農業開発 計画策定	○ 巡回指導	○ 51年11月 事前 51年2月 実施計画 51年3月 実施調査	2,105	15日 4人	10 中	
⑮ インドネシア農業研究	○ 巡回指導		2,105	21日 6人	8 中	
⑯ 育種分野 (インドネシア他2ヶ国)	○ 分野別巡回指導(インドネシア養蚕・タイ養蚕)		3,626	20日 5人	10 下	
⑰ 土壌肥料分野 (ネパール他2ヶ国)	○ 分野別巡回指導		3,520	25日 5人	10 上	
⑱ 機材維持管理 (バングラディッシュ他3ヶ国)	○ 分野別巡回指導		3,335	25日 4人	11 中	
⑲ タンザニアキリマンジャロ 農業開発	○ 現在進行中のR/D終了以降の協力計画の協議	○ 48年3月 プロファイ 49年11月 実施設計 52年3月 計画打合せ	3,237	20日 5人	3 上	

案件名	調査の概要	前年度迄の経過	実施計画 予定額	日数及び 団員数	出発時期 (月)	備考
⑳ ブラジルリベイラ 農業開発	○ 事業実施計画の検討	○ 46年12月 予備 47年2月実施計画, 50年1月実施 設計, 51~52巡回指導	4円 3,325	20日 4人	2 下	
㉑ ブラジル農業研究	○ 補足取決め R/D にともなう協力計画等の協議		3,325	21日 5人	12 下	
計画打合せ						
㉒ タイかんがい農業開発	○ メクロン地区現地調査作業及び国内作業による両 地区の詳細設計	○ 51年5月 予備 51年11月 予備 52年2月 実施設計	1,305	10日 3人	9 中	
㉓ バングラディッシュ 農業普及	○ 協定延長後の実施についての打合せ		1,689	15日 4人	8 下	
㉔ インドネシア家畜衛生	○ R/Dの取りまとめ		1,838	10日 3人	7 中	
㉕ インドネシアボゴール大学	○ 6月の実施調査結果の説明、プロジェクトを実施 段階に進めるべく R/D署名を行う。	○ 51年3月 予備 52年6月 実施調査 (予定)	1,920	14日 4人	12 上	
㉖ 韓国農業研究	○ 研修員の受入等、事業計画の検討	○ 47年11月 予備 49~52年 計画打合	896	14日 4人	1 下	
㉗ マレーシア水管理訓練計画	○ R/Dの取りまとめ、プロジェクトの運営計画につ いての打合せ		1,458	15日 3人	12 上	
㉘ バングラディッシュ園芸研究	○ プロジェクト運営計画についての打合せ		1,154	15日 3人	12 上	
エバリュエーション						
㉙ インドネシアランポン 農業開発	○ 過去4年半の協力実績の分析評価技術協力終了 後の取扱いについて「イ例」と協議し両国関係機関 に提言。	○ 46年8月 基礎調査 47年 実施計画, 実施調査 50~51年 巡回指導	8,600	28日 5人	6 上	

案件名	調査の概要	前年度迄の経過	実施計画 予 定 額	日数及び 回員数	出発時期 (月)	備 考
②⑨ タイ養蚕開発	<ul style="list-style-type: none"> ◦ R/D満了(54%)をひかえ進捗状況をレビュー、今後の取組について検討。 		4円 2910	23日 5人	8 中	
基礎調査						
③① 計画基準作成調査 (インドネシア、フィリピン)	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 対象国の普及実態及び問題点を把握しこれらに対応した普及基準を総論として作成。 	◦ 51年度 各論編	19,000	25日 2人	10 上	
③② 開発基礎調査 効果測定(マレーシア、タイ)	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 効果測定についての手法検討 		16,777	20日 5人	11 上	
③③ 開発基礎調査 農村総合開発 (インドネシア、フィリピン)	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 農村の生産と生活環境を含めた農村総合開発事業の実態の調査を行い開発の手法を確立する。 	50、51年度 乾燥地基礎調査	17,346	20日 5人	11 上	
③④ 開発実態調査 (フランス、イギリス、アメリカ)	<ul style="list-style-type: none"> ◦ ヨーロッパ(イギリス、フランス)の 아프리카(カメルーン、ナイジェリア)に対する林業協力の実態について調査 	50. 西独、デンマーク、 スイ、インドネシア 51. 米国、ペルー、ボ リビア、パラグアイ 52. カナダ、インド、 マレーシア、イン ドネシア	2461	25日 5人	10 上	

案 件 名	調 査 の 概 要	前 年 度 迄 の 経 過	実 施 計 画 予 定 額	日 数 及 び 団 員 数	出 発 時 期 (月)	備 考
51年度からの繰越予定案件 実施調査			円			
① インドネシアボゴール大学	○ 農産加工に係る教育協力実施に必要な事項についての調査	○ 51年3月 予備	4,333	16日 6人	5上	
計画打合せ						
② ブラジル農業研究	○ 補足取極にもとづく協力の具体的計画の協議		4,286	21日 4人	4下	
③ インドネシア南スラウェシ 地域農業開発計画 策定	○ 本年度予算による短期派遣専門家カウンターパート受入等年次計画に関する協議	○ 50年11月 事前 51年2月 実施計画 51年3月 実施調査	2,400	15日 3人	6中	
④ イラン研究協力	○ R/Oとりまとめ署名と実施計画の打合せ		3,090	15日 3人	5下	
⑤ タイ家畜衛生	○ 52年3月2日締結のR/Oにもとづく実施設計及び供与予定機材に関する打合せ	51年9月 実施調査	1,977	13日 3人	7下	

2. 開発技術協力事業

案件名	調査の概要	前年度迄の経過	実施計画 予算額	日数及び 団員数	出発時期 (月)	備考
事前調査			4円			
① インドネシア中部ジャワ 林業協力	◦ ジャワ地方山岳地での集材機を用いた収穫技術の 移転についての技術協力の可能性調査。	新規	4,952	20日 5人	6 下	
② 中南米畑作物 (アルゼンチン 地)	◦ テラロッシヤ地域の農業開発を円滑に展開させる ための技術の確立と普及を図ることを目的とする。	新規	7,297	25日 4人	10 上	
③ フィリッピン畑作物	◦ 報告書作成費のみ。	新規	500	—	—	
実施協議						
④ ビルマ林業開発	◦ アラカン山系など山地林開発に係る技術協力プロ ジェクト実施の検討に必要な現地調査。	◦ 51年12月 事前調査	10,697	21日 5人	6 中	
⑤ フィリッピン、パンタボンガン 森林造成	◦ パイロット、フォレスト造成に関する実施設計。	◦ 50年12月 実施計画 51年6月 計画打合	22,272	50日 6人	10 中	
巡回指導						
⑥ タイとうもろこし開発	◦ 巡回指導	◦ 50年3月 事前 50年12月 実施計画 51年9月 実施設計(R/D)	3,210	35日 5人	2 上	
⑦ タイえび養殖開発	◦ エヴァリュエーションの実施	◦ 47年7月 F/S 49~52年 巡回指導	3,210	35日 5人	12 上	
計画打合						
⑧ ビルマ林業開発	◦ R/Dの締結		1,321	15日 4人	7 中	

案件名	調査の概要	前年度迄の経過	実施計画 予算額	日数及び 人員数	出発時期 (月)	備考
⑨ インドネシア浅海養殖 51年度からの繰越予定案件 事前調査	◦ エビと魚類の混養可能性についての計画の打合せ。		4冊 1,321	15日 4人	1下	
① ミクロネシア浅海養殖 実施調査	◦ パラオ養殖研究所内養殖適地へ技術の向上と新技術の導入およびカツオ漁業の育成	新規	4,617	20日 5人	7中	
② フィリピン飼料作物 実施設計	◦ フィリピンの他案件(カガヤン)の進捗状況をふまえた実施調査	◦ 51年度 事前調査	6,096	30日 5人	7上	
③ タイとうもろこし 巡回指導	◦ センターに付属する機材保存、設備、圃場等の実施設計	◦ 50年3月 事前調査 50年12月 実施調査	14,888	35日 5人	6中	
④ マダガスカル畜産	◦ R/Dの締結	◦ 48年8月 事前調査 50年9月 実施計画 51年3月 実施設計	7,356	25日 4人	7上	

3. 技術協力センター事業

案件名	調査の概要	前年度迄の経過	実施計画 予定額	日数及び 인원数	出発時期 (月)	備考
実施調査			千円			
① チュニジア国立漁業センター	・ 国立漁業センター設立の具体的な計画策定	51年度 事前調査	4,035	19日 3人	11 下	
イバリュエーション						
② スリランカ高等水産講習所	・ 53年4月に協定が切れる本プロジェクトの評価を行う。	・ 47年2月 事前 48年4月 実施 51年 巡回指導	3,666	14日 5人	10 下	
③ シリア鶏病予防センター	・ 過去5年間実施された協力分野の評価および今後の協力方向の検討を行う。	・ 46年11月 事前 47年11月 実施 49.51 巡回指導	2,799	25日 4人	6 下	
④ ペル水産加工センター	・ 研究所施設の進捗状況の把握と供与機材の使用状況の調査。	・ 49年1月 事前調査 50年4月 実施	3,435	16日 3人	2 中	
機械修理						
⑤ シリア鶏病予防センター	・ 52年11月15日プロジェクト終了引継ぎのため機材修理チームの派遣		2,589	35日 3人	7 下	

4. 開発協力事業

案件名	調査の概要	前年度迄の経過	実施計画 予定額 千円	日数及び 団員数	出発時期	備考
基礎一次調査						
① アルゼンチン森林造成	◦ 未利用樹の開発利用及びパラマ松等の植林を行うに当り、技術的可能性及び事業計画作成に必要な調査	新規	7,861	25日 4人	2中	
② アルゼンチン落花生	◦ アルゼンチンパンパス中央地区において企業ベースの落花生の生産開発の可能性と対象地区の選定	新規	10,097	25日 6人	10上	
③ マレーシアサバ州 農業開発	◦ オイルパーム、ココア生産開発の実態を把握し対象地区の選定および生産性算について調査	新規	8,582	21日 9人	11上	
基礎二次調査						
④ ニューヘブリデス 森林造成	◦ 森林造成方法及び森林造成に対する資金的、技術的協力方法の検討、開発基本構想の策定	◦ 51年11月 海外造林業開発センターにより海外造林開発手法調査が実施された。	22,700	25日 6人	11下	
⑤ ソロモン群島森林造成	◦ 開発基本構想策定のため本調査を行う。	◦ 51年10月 基礎一次調査	27,800	30日 6人	1中	
⑥ ホンジュラス農業開発	◦ 製糖工場に供給するさとうきびの生産を行う農園約10,000haを造成する事業構想の策定のための調査	◦ 52年3月 開発調査(事前)	20,000	30日 8人	2上	
開発計画調査						
⑦ フィリピンパンタバンガン 森林造成	◦ プロジェクトの実施に必要な森林保全研修所施設等の基本設計を行う。	◦ 50年4月 基本二次 52年2月 開発計画調査	48,350	30日 13人	9下	

案件名	調査の概要	前年度迄の経過	実施計画 予算額	日数及び 団員数	出発時期 (月)	備考
⑧ インドネシア中部スラウェシ 林業開発	○ 造林、加工試験設計、インフラ設計等開発計画の 作成	51年3月 基礎一次 " 10月 基礎二次	千四 23,800	25日 6人	9下	
計画打合せ (案件未定) 3件			4,098			
投融資審査等調査	(投融資業務の進捗に合わせて、7件の審査等調査 の実施を予定する。)		1件平均 1,981	35日 3人		
51年度からの繰越予定案件 開発計画調査						
① ブラジル農業開発(第5次)	○ 51年9月締結されたR/Dに基づきブラジルセラ ード農業開発計画推進の中核とする日伯農業開発会 社の設立を含む計画の細部のつめ		46,400		9上 11中	
② インドネシア南スマトラ 森林造成	○ 森林造成事業の開発計画を作成し、その経済性を 検討することを目的とし航空写真の撮影	" 50年6月 基礎一次調査 50年11~12月 基礎二次調査	33,282	50日 9人	9下	
計画打合せ						
③ ブラジル農業開発	○ ブラジル・セラード農業開発		3,600		4下	

5. 開発調査事業

案 件 名	調 査 の 概 要	前年度迄の経過	実施計画 予算額 千円	日数及び 人員数	出発時期 (月)	備 考
農林業開発調査						
事前調査						
① タイムクロン農業開発	○ 第4次54年計画で重点地域とされているメクロン流域の農業総合開発策定の予備調査	新 規	25,000	50日 10人	7中	
② イラク農業復興計画	○ 「イ」政府の農業基盤整備抜充計画に応じた協力可能性調査	新 規	5,709	12日 13人	7中	
③ インドネシア、リアム・カナンかんがい計画	○ リアム・カナン地区20,000haについての要請の内容確認、地区選定、必要資料の収集	新 規	9,694	32日 7人	7中	
④ ビルマ、イラワジ農業総合開発	○ マスタープラン調査に先立ち、関係者との協議、踏査、資料収集を行い、調査の実施方針、協力構想策定	新 規	11,000	28日 6人	9中	
⑤ フィリピン、イロコスノルテかんがい計画	○ 対象地区の調査をし、位置付け計画規模、今後の協力の方向等について関係者と協議	新 規	10,889	28日 8人	2中	
⑥ フィリピン、ボホール農業総合開発	○ ダム建設計画および流域7,500haのかんがい排水施設の整備、灌漑造成、農道等整備計画のF/S	新 規	12,992	90日 10人	7下	
実施調査						
⑦ 韓国干拓	○ 韓国が作成する西南海岸干拓計画(F/S)をレビューし、アドバイスをを行う。	51年度 事前調査	10,000		2上	
⑧ バングラ N-Nかんがい計画	○ N-N地域5万haの基本計画をたてその5%から優先度の高い地区2万haを選定 F/Sを実施	51年度 事前調査	98,997	75日 11名	10上	

案件名	調査の概要	前年度迄の経過	実施計画 予定額	日数及び 団員数	出発時期 (月)	備考
			和			
⑨ スーダン・カサバ 農業開発	かんがい排水施設計画を主とした調査 ○ 農地造成により稲の2期作を旨としたプロジェクト	51年11~12月 事前調査	119,768	13日 2人	8上	
⑩ 北イエーノン農業開発	○ イエーノン北部ハジャ州の地域総合開発計画のマスタープラン作成	52年3月 事前調査	80,000	90日 5人	5中	
⑪ ホンジュラス・チョルテカ 農業開発	○ チョルテカ川流域農業開発計画の策定	52年3~4月 事前調査	130,000	88日 15人	7中	
⑫ フィリピンボホール島 かんがい計画	○ ボホール島ワヒグ、パマクサラン流域約7,500 ^{ha} のグムかんがい開発計画のF/S	○ 51年 事前調査	120,000	98日 16人	7下	
⑬ ギニア・カンカン 農業開発	○ かんがい排水等18,500 ^{ha} の稲作計画のため地形図作成	○ 51年 事前調査	40,000	30日 6人	2中	
⑭ タイ・カセサート農業大学 (特別案件調査)	○ 「カ」大学カンパンセン・キャンパスに中央研究棟と温室群を無償援助するための基本設計及び設置機材リスト作成		44,205	15日 10人	10上	
⑮ アフガニスタン稲作センター (特別案件調査)	○ 一般無償援助で建設予定の施設建設に関する基本設計、機械のリスト作成	○ 51年 南西アジアプロ アイ	50,000	30日 7人	10上	
⑯ タイ・メクロン マスタープラン	○ メクロン流域約40万 ^{ha} の地域農業開発のためのマスタープラン作成	事前調査(52年7月~9月)	100,000	110日 10人	11上	
⑰ インドネシア・リアムカナン かんがい計画	○ 30,000 ^{ha} のかんがい計画のマスタープラン作りに先立ち地形図作成	52年11月 事前調査	80,000	95日 6人	10下	
⑱ スーダン・カサバ 農業(補完)	○ off-season期を利用した2期作の栽培調査	51年11~12月 事前調査 52年5~8月 実施調査	14,000	120日 12人	1中	

案 件 名	調 査 の 概 要	前 年 度 迄 の 経 過	実 施 計 画 予 定 額	日 数 及 び 団 員 数	出 発 時 期 (月)	備 考
①⑨ 北イエーメン地域 地形図作成	◦ 地域の地形図の図化を行う計画	52年3月 事前調査	千円 50,000	30日 8人	10 中	
林業資源						
②⑩ フィジー林業開発	◦ タベウニ島の航空写真、地形図作成及びココナツ 木の解析、計画作成		78,237 (1次 4,871 2次 73,366)	50日 3人	7 上	
②⑪ インドネシア森林資源 中部プカロンガン ムシ河上流森林	◦ 中部ジャワ州メルワシーマ川の伐採計画及其の立 案に必要なデータの収集 ◦ ムシ河上流域の森林について流域管理計画を策定 する。		98,075 { 15,081 83,017			
②⑫ タイ森林開発	◦ 森林開発についての資源調査	新 規	5,000			
②⑬ アルゼンチン森林開発	◦ アルゼンチンの森林開発に関し森林資源の調査	新 規	5,500			
水産資源						
②⑭ サントメがボン水産資源	◦ 陸上調査に引き続き沿岸調査を実施する。	52年3月 陸上調査	39,000	15日 2人	11 上	
②⑮ ギルバート水産資源	◦ 陸上調査に引き続き「ギ」政府と実施細目につい て協議 S/W の作成および沿岸調査	51年度 陸上調査	123,305	13日 2人	6 中	
②⑯ フィリッピン水産資源	◦ 昨年度に続く二度目の海上調査に関する詳細打合 せ(S/W)及び資源調査	51年度 海上調査	46,545	15日 4人	9 中	

案 件 名	調 査 の 概 要	前年度迄の経過	実施計画 予 定 額	日数及び 回 員 数	出発時期 (月)	備 考
⑳ パプア・ニューギニア 漁業基地建設	◦ F/S 報告書の修正をへて基地建設計画の設計を行 う。		千 5,000			
㉑ パルー中部 漁業基地建設	◦ 漁業基地の具体的建設計画調査	49年度 基礎調査団	4,000			
㉒ エクアドル陸上調査	◦ 大陸棚周辺の深海赤エビの資源調査	新 規	12,000			
㉓ ガイアナ陸上調査	◦ 資源量推定に必要な水産資源調査	新 規	12,000			
㉔ コロンビア陸上調査	◦ 赤エビ調査	新 規	12,000			
51年度からの繰越予定案件						
① タイチャオビア(実施)	◦ 基盤整備、農業普及、農民組織等を含めた農業総 合開発のマスタープラン作成	51年度 事前調査	87,013		4 中	
② インドネシア森林資源	◦ 写真図化、空中写真、材積表作成		58,839	50日 7人	4 上	

6 長期調査員派遣計画

昭和52年度の長期調査員の派遣は、調査の進捗に合わせて、プロジェクトのフォーミュレーションを効果的に行うことを目的として、次のように進める。

長期調査員派遣計画

	派遣対象プロジェクト	員数	期間	備 考
農林業協力事業	インドネシアボゴール 農科大学	2人	未定	長期調査員の派遣は、調査の進捗に合わせて行う必要があるため、弾力的に考える。(派遣対象プロジェクトの変更もあり得る。) なお、予算額は、派遣諸費内での弾力的運用可。
	ビルマ畜産	2	〃	
	アフガニスタン農業	2	〃	
	マレーシア水管理	2	〃	
	バングラ圏域	2	〃	
	インドネシア家畜衛生	2	〃	
開発技術協力事業	インドネシア浅海養殖	2	〃	
	ビルマ畑作	2	〃	
	フィリピン畑作	2	〃	
	マダガスカル畜産	2	〃	
開発協力事業	ブラジル農業開発	2	〃	
	インドネシアオイルパーム	2	〃	

II プロジェクト運営計画

1. 農林業協カプロジェクト

区 名	プロジェクト名	プロジェクトの内容			昭和52年度運営計画			
		協力内容	協力期間	専門家派遣数	調査団派遣	専門家派遣	機材供与	研修員受入等
バンブラ ディシュ	農業普及	わが国の無償協力で設立が進められている中央農業普及技術開発研究所(CERDI)において次の協力を行う。 (1) 農業普及のための方法ならびに技術的素材の開発 (2) 農業技術実用化試験 (3) 普及員養成のための教員養成と技術担当官の訓練 (4) 農業普及組織に対する指導助言	R/Dによる協力(2年間) (50年3月14日) 53年3月13日) (この後、協定協力(57年)と予定し目下手続中) (注) バンブラディシュ農業機械化に対するR/D協力(48.4.1~50.3.31)がこの前に行われている。	52年4月1日 現在 団 長 / 普 及 / 農業機械化 / 稲作試培 / 農業機械 / R/D農業 / 調 整 / 計 7名	1. 計画打合せ 52年8月下旬 4名×15日 2. 巡回指導(機械維持管理:スパー ル農圃とセット) 52年11月中旬 4名×35日	(長期) 園芸(新規) 52.4 農業普及(交替) 52.7 農業機械化(交替) 52.6 (短期) 4名	51年度(繰越) ^(4月) 152,500 52年度 70,000	(集田町当分) 農業普及、稲作機械化、かんがい排水、農機具整備 各1 〔個別要望〕 高級 1 普及改良ほか 3

国名	プロジェクト名	プロジェクトの概要			昭和52年度運営計画			
		協力内容	協力期間	専門家派遣数	調査団派遣	専門家派遣	機材供与	研修員受入等
インドネシア	農業研究	ボゴール中央農業研究所において作物保護に関する次の研究に協力する。	協定協力 (8年間) 45年10月23日 (52年4月1日 現在 団長 / 植物病理 / 植物生理 2 植物ウイルス 2 (短期) / 計 7名	○ 巡回指導調査 昭和52年8月中旬 6名 × 21日	(長期) 植物生理(交替) 52.11 ウイルス(〃) 53.3 植物病理(〃) 53.3 (短期) 3名 作物 52.10 植物病理 機材提供 52.4	51年(繰越) ^(千円) 51,000 52年度 55,000	(個別・要望) 高級 / 植物病理ほか 5 個別 4名 植物病理 植物生理 作物 昆虫
		① 主要作物主要病害虫の生態と防除に関する研究 ② 主要作物主要病害虫及びウイルス病の媒介昆虫の発生予察に関する研究 ③ 食用作物の生理障害及び主要病害虫に関する植物生理学的研究	45年10月23日 (53年10月22日 (50年10月23日より3年間延長)					
インドネシア	ランポン農業開発協力	本プロジェクトは昭和47年11月に締結された協定により協力を実施しており、3つの小計画により成立している。	協定協力 (5年間) 47年11月14日 (52年11月13日	52年4月1日 現在 団長 / 病害管理 / 稲作普及 / 畑作普及 / かんがい / 計 5名	1. エバリュエーション調査 昭和52年6月上旬 5名 × 28日 2. 巡回指導調査 (土壌肥料分野: フィリピン・カガヤン産開とセットで実施	(長期帰国) 3名 プロジェクトリーダー 52.11 病虫害 稲作普及 (新規派遣予定) 6名 プロジェクトリーダー 52.11 土壌肥料 病虫害	51年度(繰越) 32,720 (翌年度) 90,280 52年度 170,000	(集団・割当等) 稲作普及、農業普及、稲病害虫防除、農業協同組合 各1 (個別・要望) 高級 2 畑作 土壌、肥料各5 ゼロ査定

国名	プロジェクト名	プロジェクトの概要			昭和52年度運営計画			
		協力内容	協力期間	専門家派遣数	調査団派遣	専門家派遣	機材供与	研修員受入等
		(II) 低地農業開発: 100haのラージデモファーム, 約5haのスマートデモファーム40を設置し, 稲作農業の普及の基礎とする。			昭和52年10月初旬 5名×25日	稲作栽培 52.11 稲作普及 / 畑作普及 / (継続) かんがい 1名	(44)	
		(III) 高地農業開発, 畑作農業地域5,000haに試験区を設置して改良農業技術の導入展示等普及活動を展開する。						
インドネシア	南スラウエシ地域開発計画	国家目標に即した地域農業の振興に資するため, 次の協力をを行う。 ① 南スラウエシ州の地域農業に関する調査及び分析 ② 南スラウエシ州地域農業開発基本計画の検討及び勧告 ③ 上記基本計画に即した部門別の農業開発計画の策定 ④ 上記基本計画及び部門別計画に即した2特産品における農業	R/D 協力 昭和51年2月25日 5 昭和52年6月24日	52年4月1日 現在 アドバイザー / 団長 / 地域計画 / 農業経済 / 業務調整 / 計 5名	1. 計画打合せ(繰越) 昭和52年6月中旬 3名×15日 2. 巡回指導調査 昭和52年10月中旬 4名×21日	(短期) 11名	51年度(繰越) 26,000 52年度 40,000	(個別・要望) 高級 2 地域計画 2

国名	プロジェクト名	プロジェクトの概要			昭和52年度運営計画			
		協力内容	協力期間	専門家派遣数	調査団派遣	専門家派遣	機材供与 (千円)	研修員受入等
インドネシア	蚕糸開発	開発事業の実施計画の策定						
		⑤ 計画作成担当者の訓練 インドネシア国の蚕糸業の振興に資するたの次の協力を行う。 ① 蚕糸センター及び同サブセンターの設立及び指導 ② 標準的蚕糸技術の確立 ③ インドネシア技術者及び指導者の訓練 ④ 蚕種並びに挿穂の製造配布 ⑤ 蚕糸新技術の展示 (注) センターの位置：南スラウエシ シビリビリ サブセンターの位置： ソッペン市	R/D協力 (1年6ヶ月)	52年4月1日 現在	① リーダー / ② 蚕飼育 / ③ 栽桑 / ④ 蚕種製造 / 合計 5名	・巡回指導調査(育種分野：タイ蚕種で実施) 昭和52年10月下旬 5名×20日	(長期) 蚕桑病(新規) 52.6 業務調整() 52.10 蚕種製造(交昏) 53.3 (短期) 2名	51年度(繰越) 60,000 52年度 120,000

国名	プロジェクト名	プロジェクトの概要			昭和52年度運営計画			
		協力内容	協力期間	専門家派遣数	調査団派遣	専門家派遣	機材供与	研修員受入等
韓国	農業研究	韓国の食糧増産及び農民所得の向上を図るため、水稲、普通作物、及び野菜の研究に関し次の研究を行う。 ① 作物安全多収性品種に関する研究 ② 水稲低位生産地の土壌肥料に関する研究 ③ 作物の栄養、水分生理生態に関する研究 ④ 生産基盤造成のための土壌肥料の総合研究 ⑤ 除草剤に関する研究 ⑥ 野菜の生産増大及び品質向上に関する研究 ⑦ 作物保護に関する基礎及び応用研究	協定協力 (5年間) 49年6月7日 (54年6月6日	52年4月1日 現在 団長 1 (短期) 2 合計 3名	計画打合せ 53年1月下旬 4名×14日	(短期) (12) 水稲育種 / 麦類 / 水稲光合成 / 水稲水管理 / 作物栄養生理障害 / 施設園芸 / 植物ウイルス / 水稲病理 / 供与機材据付 4	51年度(繰越) ^(4円) 59,500 52年度 60,000	(個別・要望) 高級 2 光合成ほか 12 (決定) 個別一般 10 高級 3
ラオス	フゴン農業開発	ビエンチャン平野フゴン地区農業開発のため、アジア開発銀行と協議し、次の協力を行う。 わが国が調査設計を行い、主に	協定協力 (7年間) 45年4月24日 52年4月23日	52年4月1日 現在 リーダー 1 かんがい 1	なし	(延長見込み) 農業機械 1名 農業技術 1名	なし	(集団・割当済) 稲作普及、かんがい、排水、各1

国名	プロジェクト名	プロジェクトの概要			昭和52年度運営計画			
		協力内容	協力期間	専門家派遣数	調査団派遣	専門家派遣	機材供与	研修員受入等
ネパール	ジャナカフル	<p>アジ銀が融資しているタゴン農業開発地区内(800ha)におけるパイロット農場(100ha)の設置</p> <p>① 土地基盤整備 ② 農業技術の改良 ③ 地区内農民の営農指導(入植訓練を含む) ④ 資機材の供与</p>	<p>現在(52年4月/日)</p> <p>専門家2名の延長要請受領</p>	<p>農業機械 / 農業技術 / 調整 / 計 5名</p>		<p>(帰国)</p> <p>リーダー / 名 かんがい / 名 調整 / 名</p> <p>(短期) ポンプ修理 / 名</p>	(4冊)	
		<p>ジャナカフル地域農業開発に対するR/Dによる予備協力の後、協定により次の協力を行なっている。</p> <p>① ハルディナート普及農場(40ha)における改良農業技術の導入、演示及び普及</p> <p>② プロジェクトセンターの設置運営</p> <p>③ 深井戸かんがい地区(420ha)における基盤整備と集約農業の普及</p>	<p>R/Dによる予備協力(3年間)</p> <p>46年11月26日</p> <p>5</p> <p>49年11月6日</p> <p>協定協力(5年間)</p> <p>49年11月7日</p> <p>5</p> <p>54年11月6日</p>	<p>52年4月/日</p> <p>現在</p> <p>アドバイザー / 名</p> <p>リーダー 2</p> <p>農業普及 2</p> <p>農業技術 3</p> <p>農業機械 /</p> <p>かんがい /</p> <p>業務調整 /</p> <p>短期 2</p> <p>(深井戸掘削、無線技術 各1名)</p> <p>計 13名</p>	<p>1. 巡回指導調査</p> <p>53年2月中旬</p> <p>4人 x 2/日</p> <p>2. 巡回指導調査</p> <p>(機械維持管理: バングラデシュ農業普及とセットで実施)</p> <p>52年11月下旬</p> <p>4人 x 2.5日</p>	<p>(長期)</p> <p>農業普及(交替) 2名 52.5</p> <p>農業機械(〃) 52.4</p> <p>農業技術(〃) 52.6</p> <p>業務調整(〃) 52.9</p> <p>(帰国)</p> <p>プロジェクトリーダー 52.5</p> <p>(短期) 2名</p>	<p>51年度(繰越) 117,000</p> <p>52年度 100,000</p>	<p>(集団)</p> <p>農業普及、稲作</p> <p>機械化稲作普及、野菜生産 各1</p> <p>(個別)</p> <p>高級 2</p> <p>かんきつ病虫害 /</p>

国名	プロジェクト名	プロジェクトの概要			昭和52年度運営計画			
		協力内容	協力期間	専門家派遣数	調査団派遣	専門家派遣	機材供与 (千円)	研修員受入等
フィリッ ピン	カガヤン 農業開発	④ ラブティ模範農場(8ha)に おける改良農業技術の導入演示 及び普及	R/D 協力 (2年間) 51年2月27日 5 53年2月26日 (以後協定に より5年間協 力をいう予定)	52年4月1日 現在 アドバイザー / 農業普及 / かんがい / 農業機材 / 栽培 / 業務調整 / 計 6名	1. 巡回指導調査 昭和52年8月下旬 4名 × 15日 2. 巡回指導調査 (土壌肥料分野イ ンドネシアランボ ン農園とセットで 実施) 昭和52年10月初旬 5名 × 25日	(短期) 2名 (長期) リーダー(新規) 53.2 (帰国) アドバイザー 53.2	51年度(繰越) 5,300 〃 (翌債) 60,700 52年度 110,000	(集団・割当済) 稲作普及、粟 菜普及、かんが い普及等 / (個別・要望) かんがいほか /
		カガヤン地域の農業開発に資す るためパイロットセンター及び拠 点普及地域(LEA)を設置し、 次の協力を行う。 ① 実用研究及び新技術の開発 ② 高収量品種の選定試験 ③ 農業機械、用水管理等のデ モンストレーション (注) センターの位置: カガヤン州 イグイグ センターの規模: 10ha(建 物2ha 試験圃8ha) 拠点普及地区 約50ha 〃 約150ha						

国名	プロジェクト名	プロジェクトの概要			昭和52年度運営計画			
		協力内容	協力期間	専門家派遣数	調査団派遣	専門家派遣	機材供与	研修員受入等
タイ	養蚕開発	<p>東北タイの養蚕開発のために次の協力をを行う。</p> <p>① コラート養蚕研究訓練センター設置(近代的養蚕技術の確立、技術者の訓練)</p> <p>② 支場の設置(改良蚕種桑苗の製造配布)</p> <p>③ 特定集落に対する近代的養蚕技術の普及</p> <p>④ 製糸業の開発に関する技術的指導</p>	<p>R/O 協力 (9年間)</p> <p>44年3月7日 47年3月6日</p> <p>延長 47年3月7日 50年3月6日</p> <p>再延長 50年3月6日 53年3月6日</p>	<p>52年4月1日 現在</p> <p>リーダー / 蚕種改良 / 蚕種製造 / 製糸 / 蚕病及び桑病 / 桑栽培 / 稚蚕飼育 / 計 7名</p>	<p>1. エバリュエーション調査 昭和52年8月中旬 5名 × 23日</p> <p>2. 巡回指導調査 (育種分野:インドネシア養蚕とセツトで実施) 昭和52年10月下旬 5名 × 20日</p>	<p>(長期帰国) プロジェクトリーダー 53.3 蚕品種改良 製糸 蚕桑病 桑栽培 蚕飼育 (短期) 2名</p>	<p>52年度 110,000^(千円)</p>	<p>高級視察 2名 病理ほか 2名</p>
イラン	ザボール農業研究センター	<p>シスタン地域農業開発のため、ザハク農業研究センターにおいて次の協力をを行う。</p> <p>① ザハク農業研究センター設立のための指導及び助言</p> <p>② 研究に関する情報の収集及び解析</p> <p>③ 農業技術の実験及び研究</p>	<p>R/Dによる協力(24年間予定)</p> <p>その後、協定により、5年間協力をを行う予定</p> <p>51.3 R/Mに</p>	<p>52年4月1日 現在 なし</p>	<p>0 計画打合せ(繰越) 昭和52年5月下旬 3名 × 15日</p>	<p>(長期) プロジェクト(新規) 52.10 アドバイザー() 52.10 水がけ排水() 2名 52.12 工場 () 52.12 作物栽培 () 52.12 農業機械 () 52.12 連絡官 () 52.10</p>	<p>51年度(繰越) 38,050 52年度 30,900</p>	<p>視察(畑作、土産)計 2</p>

国名	プロジェクト名	プロジェクトの概要			昭和52年度運営計画			
		協力内容	協力期間	専門家派遣数	調査団派遣	専門家派遣	機材供与 (千円)	研修員受入等
タンザニヤ	キリマンジャロ	<p>キリマンジャロ州農業生産を増大するために次の協力を行う。</p> <p>① リヤムング農業研究所を中心とする試験研究協力</p> <p>② キリマンジャロ州の水資源開発調査協力</p> <p>③ キリマンジャロ州における農業調査協力</p>	<p>署名、近く%に署名の予定</p> <p>%による協力(2年間)</p> <p>49年/2月2日</p> <p>51年/2月/日</p> <p>51年/2月%協力/年延長</p> <p>52年/2月2日</p> <p>53年/2月/日</p> <p>(その後54年間の協定協力を予定)</p>	<p>昭和52年4月/日</p> <p>現在</p> <p>リーダー /</p> <p>栽培 /</p> <p>かんがい /</p> <p>土壌肥料 /</p> <p>水資源 /</p> <p>農業経済 /</p> <p>調整 /</p> <p>(短期) /</p> <p>計 9名</p>	<p>○ 巡回指導調査</p> <p>昭和53年3月初旬</p> <p>5名 × 20日</p>	<p>(長期)</p> <p>リーダー(交替) 52.7</p> <p>栽培2名(〃) 52.7</p> <p>土壌肥料(〃) 52.10</p> <p>農業経済(〃) 53.2</p> <p>水資源(〃) 52.10</p> <p>業務調整(〃) 52.5</p> <p>(短期) 2名</p>	<p>51年度(繰越) 35,022</p> <p>52年度 85,000</p>	<p>(集団・割当済)</p> <p>農地水資源開発</p> <p>(個別・要望)</p> <p>高級 /</p> <p>地下水 /</p>
ブラジル	リベイラ河流域農業開発	<p>リベイラ河流域の農業生産の増大に資するために次の協力を行う。</p> <p>① リベイラ河流域の開田化に伴う稲作栽培技術の普及</p> <p>② 農業開発センターにおける研究協力</p>	<p>%及び補正</p> <p>取極による協力</p> <p>50年3月/日</p>	<p>52年4月/日</p> <p>現在</p> <p>リーダー /</p> <p>テクニカルアドバイザー /</p> <p>農林土木 2</p>	<p>○ 巡回指導調査</p> <p>昭和53年2月下旬</p> <p>4名 × 20日</p>	<p>(長期)</p> <p>農業機械(新規) 52.5</p> <p>病虫害(〃) 52.5</p> <p>園芸(〃) 52.5</p> <p>土壌肥料(〃) 52.5</p> <p>普及(〃) 52.9</p>	<p>51年度(繰越) 10,320</p> <p>51年度(現償) 41,238</p> <p>52年度 100,000</p>	<p>(集団・割当済)</p> <p>稲作普及、かんがい排水、農地水資源開発</p> <p>各 /</p>

国名	プロジェクト名	プロジェクトの概要			昭和52年度運営計画						
		協力内容	協力期間	専門家派遣数	調査団派遣	専門家派遣	機材供与	研修員派遣等			
ブラジル	農業研究	セラード地域における農業開発の促進に資するため、次の共同研究に協力する。 ① 植物病理、昆虫に関する研究 ② 作物栽培、土壌肥料、作物育種に関する研究 ③ 農業気象に関する研究 ④ 農業機械に関する研究 ⑤ 営業形態に関する研究 協力する研究所 1) ブラジル農業研究公社 (EMBRAPA) 2) セラード農業研究センター (CPAC) 3) ミナスジエラス州農業	(現在、補足取極手続中)	農業経済 / 栽培 / 業務調整 / (短期) 3 計 10名		技術協力基本協定の補足取極めに基づき協力 (5年間) 51年2月 署名(現在補足取極め手続中)	昭和52年4月/日 現在 52年4月下旬 4名 × 2/日 52年12月下旬 5名 × 2/日	1. 計画打合せ(繰越) 52年4月下旬 4名 × 2/日 2. 巡回指導調査 52年12月下旬 5名 × 2/日	テクニカルアドバイザー(依替) 52.8 農業土木 1名 (〃) 53.2 (短期) 建設機械 4名 4ヵ月 (長期) 園長 (新規) 52.9 植物病理 (〃) 〃 応用昆虫 (〃) 〃 土壌作物水系(〃) 〃 作物栽培 (〃) 〃 調整員 (〃) 〃 (短期) 2名	(7町) 51年度(繰越) 140,000 52年度 100,000	(個別・要望) 短期(高級を含む) 3名 (個別・要望) 応用昆虫学(計) 2 (決定) 個別一般 3 高級 2

国名	プロジェクト名	プロジェクトの概要			昭和52年度運営計画			
		協力内容	協力期間	専門家派遣数	調査団派遣	専門家派遣	機材供与	研修員受入等
		研究公社 (EPAMIG) 4) ウベラーバ農事試験場 (EEAU) 5) パトスデミナス農事試験場 (EEAP) 6) アルトパラナイーバ農事試験場 (EEAPADAP)					(伊)	
インドネシア	ボゴール農科大学協力	ボゴール農科大学農産加工学科において穀物、油料種子、繊維作物等の実験実習用加工機材の充実強化を行ない、教育と研究の質的向上を図るとともに同学科関係の教授、学生など農産加工関係の人材の養成に協力する。	未定	昭和52年4月1日現在 なし	1. 実施調査(緑越) 昭和52年5月初旬 6名×16日 2. 計画打合せ 昭和52年2月初旬 4名×14日	(長期) 調査員 2名	52年度 30,000	個別 (2) 視察 / 農産機械 /

国名	プロジェクト名	プロジェクトの概要			昭和52年度運営計画			
		協力内容	協力期間	専門家派遣数	調査団派遣	専門家派遣	機材供与 (千円)	研修員受入等
タイ	かんがい 農業開発	タイ国の水稲単位面積収量の増大及び水稲二期作面積の拡大により米作増産を図るため、圃場整備の推進及び営農技術並びに営農組織等の改善普及を主たる事業とするかんがい農業開発計画に協力する。 このプロジェクトは次のとおり、プロジェクトセンターと3つの小計画により構成される。	R/Oによる協力 (5ヶ年間を予定)	52年4月1日 現在 なし	① 実施協議(×クロン) 52年7月 4^ x 25日間 ② 計画打合せ 52年9月 3^ x 10日間	(長期) 団長 (新規) 6月 1人 圃場整備 (〃) 6月 1人 農業経済 (〃) 6月 1人 業務調整 (〃) 6月 1人 かんがい排水 (〃) 10月 1人 圃場整備 (〃) 10月 1人 栽培 (〃) 10月 1人 普及 (〃) 10月 1人 計 8名	52年度 140,000	(集団) 農地水資源 1名 (個別) 高・準高級 2名 一般 1名

国名	プロジェクト名	プロジェクトの概要			昭和52年度運営計画			
		協力内容	協力期間	専門家派遣数	調査団派遣	専門家派遣	機材供与 (千円)	研修員受入等
		1. プロジェクト・センター：周辺地域の開発計画に対する助言及び統括的業務 2. チャオピア・パイロットプロジェクト（約500ha）及びメクロンパイロットプロジェクト（No.1：約400ha, No.2：500ha）にて次の活動を行う。 (1) 輪中堤、圃場整備の計画・建設 (2) 試験圃場（約10ha）での実用試験及び訓練 (3) 農民組織の育成強化 3. 試験及び訓練プロジェクト：改良授業技術の訓練						
バングラ デシュ	園芸研究	バ園のかんきつ改良及び野菜種子増殖を図るため、園芸研究センター（仮称）及び関係機関地方農場に対し、次の協力をを行う。 1. かんきつ改良のための基礎研	9/1による協力 （34年間予定）	52年4月1日 現在 長期調査員 2名	① 実施設計 52年8月～9月 10人×60日間	（長期） 園長（新規）11月1名 かんきつ（ ）11月1名 野菜（ ）11月1名	52年度 40,000	高級、準高級 1名 個別地 2名

国名	プロジェクト名	プロジェクトの概要			昭和52年度運営計画			
		協力内容	協力期間	専門家派遣数	調査員派遣	専門家派遣	機材供与	研修員受入等
マレーシア	水管理訓練計画	究及び圃場適応試験 2. 野菜種子増殖のための基礎研究及び圃場適応試験 3. 関係機関農場に対する巡回指導	R/Dによる協力 (54年間を予定)	52年4月/日 現任 長期調査員 2名	② 計画打合せ 52年/2月 3人×15日間	(帰国) 長期調査員(8/3) 2名	(千円)	
		マダガケランタン州コタバル市近郊に設置する水管理センター及びパイロットファームにおいて、次の協力を行う。 1. 水稲を中心とした水管理に関する訓練 2. かんがいシステムの維持管理に関する訓練 3. その周辺地域の用排水改善計画等応用研究			① 実施設計 52年6月~7月 10人×60日間 ② 計画打合せ 52年/2月 3人×15日間	(長期) 団長(新規)10月/1名 かんがい排水()10月/1名 水管理()10月/1名 稲作栽培()10月/1名 業務調整()10月/1名 計 5名 (帰国) 長期調査員(8/3) 2名	52年度 100,000	(集団) 農地水資源1名 (個別) 高級・準高級:3名
タイ	家畜衛生	家畜衛生事情の改善を図ることを目的として次の事業を行う。 ① 中央政府に対する家畜衛生企画協力(アドバイザー・サービス)	52.3.2 55.3.1 (3ヶ年) R/Dによる	アドバイザー 1 ワクチン製造 2 口蹄疫診断 1 ウイルス 1 細菌 1	計画打合(51年度分繰越) 3名/3日の構成による調査員を7月頃派遣予定	(長期) ワクチン製造 2名 口蹄疫診断 1名 52年7月から	51年度繰越分 50,000(明許) 52年度新規分 70,000	(集団) 家畜衛生 1名 (個別) ゲル製造 1名 疾病診断 1名

国名	プロジェクト名	プロジェクトの概要			昭和52年度運営計画			
		協力内容	協力期間	専門家派遣数	調査団派遣	専門家派遣	機材供与	研修員受入等
		② 家畜衛生センターを中心とする家畜疫病の診断、調査、防疫 ③ 口蹄疫センターを中心とする口蹄疫ワクチン大量製造培養技術の確立と口蹄疫の診断		病理 / 疫学(防疫) / 計8名予定		アドバイザー / 名 ウイルス / " 細菌 / " 病理 / " 疫学 / " 52年10月から派遣の予定 (短期) サスペンションカルチュア 6ヵ月 / 名 52年12月から派遣予定	(千円)	高級 2名
ビルマ	畜産開発	「ランブーン地区食肉供給計画」を直接の対象プロジェクトとして、ランブーン地区の畜産公社試験場を拠点とし、養鶏、養豚に関する技術協力を通じて、畜産物の生産向上をはかることが計画されている。	3ヵ年 52年12月頃より R/Dによる。	畜産経営 / 飼養管理(豚) / " (鶏) / 家畜衛生 / 調整 / 計 5名	① 事前調査(新規) 5人 x 35日 52年8月頃派遣 ② 実施調査(新規) 4人 x 25日 52年12月頃派遣	① 長期調査員 2名 畜産経営 経済 52年8月~53年1月		高(準)級 /

国名	プロジェクト名	プロジェクトの概要			昭和52年度運営計画			
		協力内容	協力期間	専門家派遣数	調査団派遣	専門家派遣	機材供与	研修員受入等
インドネシア	家畜衛生	スマトラ島北スマトラ地区及び南スマトラ地区を中心に、地域で一般に流行している家畜疾病の調査、診断、これらに関する試験研究、家畜衛生、畜産技術者の訓練、地域での重要疾病に対するワクチンの試作等について協力する予定。	52年6月から3カ年の予定。 5/10による。	アドバイザー 1名 (中央政府) 細菌 1名 病理 1名 疫学 1名 ウイルス 1名 (メダン) 微生物 1名 疫学 1名 (ランポン) 計 7名 の予定 短期 2名予定	① 実施調査(新規) 4名 × 25日 52年5月中旬 ② 計画打合(新規) 3名 × 10日 52年7月中旬	① 長期計画員 (~52年7月まで) ② 長期専門家 アドバイザー 1名 細菌 1名 病理 1名 疫学 1名 ウイルス 1名 計 5名 ③ 短期 1名	52年度(新規) ^(4冊) 30,000	高(学)級 1名 個別 1名 集団 1名

2. 開発技術協力プロジェクト

国名	プロジェクト名	プロジェクトの概要			昭和52年度運営計画			
		協力内容	協力期間	専門家派遣数	調査員派遣	専門家派遣	機材供与	研修受入等
フィリピン	畑作開発	ルソン島カガヤンバレー地域における畑作物(飼料作物を主とする)の開発をはかるため、試験研究機関を拠点として、畑作物(とうもろこし、ソルガム等)の輪作体系、品種の選定試験等の試験研究について協力することが計画されている。	3カ年 53年2月頃より、R/Dによる。	栽培 土壌肥料 病虫害 土地利用計画 農業機械 農業経済	実施調査(総額) 5名×30日 52年11月	① 長期調査員 2名 農業経済(流通) 栽培 52年7月～12月 ② 長期専門家 3名 53年3月～ 農業経済 栽培 土壌肥料	(千円) 52年度新規 7,500	高(専)級1名
タイ	とうもろこし開発	とうもろこしの増産及び農業協同組合の育成を目的として次の事業を実施する。 1. とうもろこしの生産及び栽培に関する教育、訓練。 2. 栽培技術、農業機械体系の展示 3. 種子の増産、配布。 4. 栽培への巡回指導。	3カ年 (R/D) 51.9.17 5 54.9.16	プロジェクトリーダー 栽培 栽培 農業機械 農協・普及 調整員 計6名	実施設計調査 (51年度残線越コンサルタント分) 巡回指導調査 5人×35日	プロジェクト・リーダー 栽培 栽培 農業機械 農協・普及 調整員 計6名	(千円) 51年度繰越 65,500 52年度新規 19,000	高(専)級1名 農国 3名

国名	プロジェクト名	プロジェクトの概要			昭和52年度運営計画			
		協力内容	協力期間	専門家派遣数	調査団派遣	専門家派遣	教員供与	研修員受入等
インドネシア	ランポン 農業開発 協力	<p>本プロジェクトは昭和47年11月に締結された協定により協力を実施しており、3つの小計画により成立している。</p> <p>(I) 農業普及センター、技術、指導、助言、圃場試験演習、訓練、技術配布等。</p> <p>(II) 低地農業開発：1,000haのラージモファーム1、約5haのスマールモファーム40を設置し、稲作農業の普及の基礎とする。</p> <p>(III) 高地農業開発、稲作農業地域5,000haに試験区を設置して改良農業技術の導入演習普及活動を展開する。</p>	<p>協定協力 (5年間) 47年11月14日 5 52年11月13日</p>	<p>52年4月1日現在 農業経営 / 農業普及 / 農業機械 / 業務調整 / 計 4名</p>	<p>「エバリエーション調査 (農林業協力隊で実施)</p>	<p>(長期帰国) 農業経営 52. 11. 農業普及 農業機械 業務調整 (新規派遣予定) 5名 農業経営 52. 11. 稲作栽培 農業普及 農業機械 業務調整</p>	<p>51年度(繰越) (円) 3,677 (翌年度) 57,321 52年度 15,000</p>	<p>(乗組員当分) 稲作普及、農業普及、稲病害虫防除、農業協同組合各1 (個別要素) 系統2、稲作土壌肥料各1</p>

国名	プロジェクト名	プロジェクトの概要			昭和52年度運営計画			
		協力内容	協力期間	専門家派遣数	調査員派遣	専門家派遣	機材供与	研修受入等
マダガスカル	北部畜産開発	北部ディエゴスアレ州において ① 家畜衛生の改善 ② 飼料作物の開発 ③ 家畜飼養の改善 ④ 技術者の訓練 等が協力の対象分野に予定されている。	R/Dにより 当面5カ年の 予定	家畜衛生 / 名 家畜生産 / 名 飼料作物 / 名 業務調整 / 名 計 4名 の予定	巡回指導 4名 × 25日	① 長期調査員 2名 家畜生産 飼料作物 ② 長期専門家 家畜生産 家畜衛生 業務調整 計 3名の予定	(千円) 51年度繰越分 8,500 52年度新規 6,300	高級 / 名
フィリピン	パンタバンカン 森林造成	重要なダム湖上流に広がる荒廃草原に おける森林造成技術を確立するため、 地域内に技術協力センターを設立して 約 8,000 ha のパイロットフォレスト を造成し、 ① 樹種選定・苗圃、植栽技術、 ② 治山、林道技術、 ③ 森林保護技術(山火、病虫害対策) ④ 流域管理施設技術 等の開発、改良および教育、訓練を 行なう。	51.6.18 ~ 53.6.17(2年) その後5年間 協定による協 力を予定。	52年4月1日 現在 4名	① 実施設計 (6名 × 30日)	(短期) 4名 (長期) 4名 主席顧問(植栽) 造林(・) 治山(新規) 経営計画(・) 計 8名	繰越 106,000 52年度 75,000	① 個別(一般) 1 ② 個別(研修) 1 ③ 個別(一般) 3

国名	プロジェクト名	プロジェクトの概要			昭和52年度運営計画			
		協力内容	協力期間	専門家派遣数	調査員派遣	専門家派遣	機材供与	研修員受入等
タイ	タイエビ養殖 開発	タイ国におけるエビ養殖の在来法を改良し、生産性を高めるための養殖技術の協力を行なうものである。 当初 R/D は3年間の予定であったがタイ側の要請により、2年間延長した。 (51.4.1 ~ 53.3.31)	R/D 48.4.1 ~ 53.3.31	52年4月1日 現在 0	派遣指導 4名 12/1 ~ 12/25	栄養飼料環境 生理 水産土木 エビ養殖(2名) 魚病 稚苗用飼料 水産養殖 水質 計 7名	① 51年度(52年度) 24,000 ② 52年度 11,000	(一般6名) 養殖技術 水理土木 病理 環境 飼料(2名) 準高級(観察) 2名 高級()

3. 技術協力センタープロジェクト

国名	プロジェクト名	プロジェクトの概要			昭和紀年度運営計画			
		協力内容	協力期間	専門家派遣数	調査員派遣	専門家派遣	機材供与	研修員受入等
シリア	鶏病予防センター	シリアの養鶏振興に資するため、ダマスカス市に設置の鶏病センターにおいて次の協力を行う。 ① 鶏病の診断、予防、防疫調査、 ② 技術者の訓練 ③ 飼養管理指導 ④ ワクチン製造に対する助言	5年週(56) 47年11月16日 52年11月15日	国長兼ウィルス 1名 細菌 1名 予防 1名 ワクチン検定 1名 計 4名	エバリュエーション 7名 25日 52年 6月 機材修繕 3名 35日 52年7月~8月	現在赴任中の専門家4名 は7月~11月に帰国予定 短期6ヶ月 1名	51年度 (千円) 繰越 15,000 52年度 10,000 (千円)	研修員受入等 家畜衛生 3名(個別 ス、集団1)
ペル	水産加工センター	本センターは、ペルー国の食糧政策開発政策に基づき、水産物加工技術の研究開発及び保存加工技術の改善を行なっている。当初56に基づき協力を開始したが、51年10月に協定が発効された。 50年11月に専門家派遣を行ない、以後機材供与、カウンターパート受入れ等の事業を実施している。	51.10.13 55.10.12	52年1月、口 現在 9名	巡回指導チーム 3名 2/1 ~ 2/14	首席顧問 冷凍冷蔵 水産加工機材 化学分析 缶詰製造 練製品製造 細菌検査 冷凍機械 業務調査 計 7名	51年度(繰越) 40,000 (千円) 52年度 55,000	(一般6名) 品質管理 (微生物) (化学分析) 一般加工 準商級(混練 2名)

国名	プロジェクト名	プロジェクトの概要			昭和52年度並管計画			
		協力内容	協力期間	専門家派遣数	調査用派遣	専門家派遣	機材供与	研修受入等
スリランカ	スリランカ 商号水産 講習所	本講習所は、Deep Sea 漁業を 目的とした短期大学程度の講習所であ り、漁業科 機関科から成る。 講習期間は 51年、生徒数各科10名 総生徒数 40名で漁業直の所管である。 取組は協定により 51年7月から52 年7月まで4年協定する予定である。	51.4.16 52.4.15	52年7月1日 現在 7名	エヴァリゼーション 5名 10.27~11.7	首席顧問 漁業員 漁場長 航海 漁法 機関 2 労務調整 計 8名	千円 51年度(繰越) 20,000 52年度 50,000	一般(漁法) 2名 (機関) 2名

4. 52年度機材供与予算額および年間実行計画額(千円)

プロジェクト名	認可予算額	年間実行計画額	プロジェクト名	認可予算額	年間実行計画額
(項) 農林業協力費	(A)	(B) ()内比 内訳	(項) 開発技術協力費	(A)	(B)
(目) 機材供与費	1,200,900	(360,000) 1,457,000	(目) 機材供与費	173,800	(22,000) 195,800
< 継 続 >	1,000,900	(220,000) 1,147,000	< 継 続 >	120,800	(22,000) 142,800
パンプラテツシエ農林開発	70,000	70,000	インドネシア農業開発	15,000	15,000
インドネシアランボン農業開発	130,000	(40,000) 170,000	フィリピンパンダバンガン森林造成	53,000	(22,000) 75,000
インドネシア南スラウエン	40,000	40,000	タイ エビ養殖開発	11,000	11,000
インドネシア農研	55,000	55,000	タイ どうもろこし 開発	19,000	19,000
インドネシア養蚕	70,000	(50,000) 120,000	マダガスカル畜産開発	6,300	6,300
タイ 養蚕	60,000	(50,000) 170,000			
タイ 家畜衛生	50,000	(20,000) 70,000	[タイ 天然ゴム]	7,500	7,500
ネパール 農業開発	100,000	100,000	[テリ銅製錬]	7,000	7,000
韓国 農研	60,000	60,000			
フィリピン カガマン	70,000	(40,000) 170,000	< 新 規 >	53,000	53,000
イラン 農研	30,900	0	フィリピン 畑作物開発	7,500	7,500
タンザニアキリマンジャロ	65,000	(20,000) 85,000			
ブラジル リベイラ	100,000	100,000			
ブラジル 農研	100,000	57,000			
< 新 規 >	200,000	(140,000) 340,000	[フリピン パーティクルボード]	7,500	7,500
インドネシア 家畜衛生	30,000	30,000	[ボリビア 亜鉛]	35,000	35,000
インドネシア ボゴールズ学	30,000	30,000			
パンプラ 園芸	40,000	40,000			
タイ かんがい	60,000	(50,000) 140,000	[] は、鉸業プロジェクト	.	.
マレーシア 水管理	40,000	(60,000) 120,000			

Ⅲ. 開発協力技術指導事業計画

1. 民間企業等技術指導

	期 間	入 員	件 数	実 施 予 算 予 定 額			対 象 プ ロ ジ ェ ク ト
				派遣諸費 円	携行機材費	計 円	
短期技術指導							短期技術指導は、民間企業等からの申請に基づいて実施する。
有償	75日	2人	6件	6,943		6,943	
無償	75日	2人	2	4,629		4,629	
長期技術指導	10ヶ月	2	1	10,741		11,571	インドネシア、ランポン産業開発に対する派遣を予定する。

2. 受入れ研修

分 野	研修員数	期 間	備 考
農 業	5	2ヶ月	
林 業	10	"	
その他	15	"	

Ⅳ. 専門家養成確保事業計画

項 目	52 年 度 の 計 画		備 考																																																		
	予 算 額 千円	内 容																																																			
専門家養成確保費 農林分 152,290 (1) 専門家の登録 (2) 専門家の確保 (3) 専門家の養成 (ア) 長期研修 ① 国外	564 60,128 77,053 38,961	1. 登録予定人員 100名 2. 対象分野 畑作及び林業分野 3. 選考方法 第一次書類選考 第二次面接 4. 登録の決定 選考委員会を設け、本委員会が決定する。 5. 登録事務 登録決定者について、カードを作成して保管する。 農林業開発協力事業に必要な専門家20名の確保を行う。	担当課：農林計画調査部 調査員																																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>研修項目</th> <th>研修国名</th> <th>研修機関名</th> <th>研修期間</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(前 規)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>畑 作</td> <td>マレーシア (シバ)</td> <td>シバ農産開発株式会社</td> <td>52. 5. 1 ~ 54. 4. 30</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>コロンビア</td> <td>国際熱帯農業センター</td> <td>52. 11. 15 ~ 53. 11. 14</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>メキシコ</td> <td>国際小麦とコムギ改良センター</td> <td>52. 10. 25 ~ 53. 9. 24</td> <td></td> </tr> <tr> <td>農 業 経 済</td> <td>イギリス</td> <td>レディング大学</td> <td>52. 8. 1 ~ 54. 7. 31</td> <td></td> </tr> <tr> <td>農 業 土 木</td> <td>アメリカ</td> <td>コロラド大学</td> <td>63. 1 ~ 64. 7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>林 業</td> <td>アメリカ (フェルトリコ)</td> <td>熱帯林業研究所</td> <td>52. 11. 1 ~ 52. 10. 30</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(続 続)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>畑 作</td> <td>メキシコ</td> <td>国際小麦とコムギ改良センター</td> <td>50. 10. 20 ~ 52. 4. 1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				研修項目	研修国名	研修機関名	研修期間	備考	(前 規)					畑 作	マレーシア (シバ)	シバ農産開発株式会社	52. 5. 1 ~ 54. 4. 30		・	コロンビア	国際熱帯農業センター	52. 11. 15 ~ 53. 11. 14		・	メキシコ	国際小麦とコムギ改良センター	52. 10. 25 ~ 53. 9. 24		農 業 経 済	イギリス	レディング大学	52. 8. 1 ~ 54. 7. 31		農 業 土 木	アメリカ	コロラド大学	63. 1 ~ 64. 7		林 業	アメリカ (フェルトリコ)	熱帯林業研究所	52. 11. 1 ~ 52. 10. 30		(続 続)					畑 作	メキシコ	国際小麦とコムギ改良センター	50. 10. 20 ~ 52. 4. 1	
研修項目	研修国名	研修機関名	研修期間	備考																																																	
(前 規)																																																					
畑 作	マレーシア (シバ)	シバ農産開発株式会社	52. 5. 1 ~ 54. 4. 30																																																		
・	コロンビア	国際熱帯農業センター	52. 11. 15 ~ 53. 11. 14																																																		
・	メキシコ	国際小麦とコムギ改良センター	52. 10. 25 ~ 53. 9. 24																																																		
農 業 経 済	イギリス	レディング大学	52. 8. 1 ~ 54. 7. 31																																																		
農 業 土 木	アメリカ	コロラド大学	63. 1 ~ 64. 7																																																		
林 業	アメリカ (フェルトリコ)	熱帯林業研究所	52. 11. 1 ~ 52. 10. 30																																																		
(続 続)																																																					
畑 作	メキシコ	国際小麦とコムギ改良センター	50. 10. 20 ~ 52. 4. 1																																																		

項 目	紀 年 度 の 計 画				備 考	
	予 算 額	内 容				
		研 修 項 目	研 修 国 名	研 修 機 関 名	研 修 期 間	備 考
		畑 作	メキシコ	国際小及とらもろこし改良センター	51. 10. 20 ~ 53. 4. 19	
			アメリカ	アリゾナ大学	51. 1. 9 ~ 53. 1. 8	
			"	"	52. 1. 3 ~ 54. 1. 7	
		畜 産	オーストラリア	熱帯畜産研究所	50. 4. 9 ~ 52. 4. 8	
			"	"	50. 10. 14 ~ 52. 10. 13	
		炭 炭 上 木	オランダ	ワゲニンゲン 炭素大等	50. 4. 9 ~ 52. 5. 22	
			アメリカ	ネバダ大学	51. 1. 9 ~ 53. 1. 8	
		林 業	フランス	熱帯林業技術センター	50. 9. 15 ~ 52. 9. 14	
			アメリカ	熱帯林業研究所	51. 3. 16 ~ 53. 3. 15	
			西ドイツ	林業生産総合研究所	51. 3. 25 ~ 53. 3. 24	
			フランス	森林調査センター	51. 9. 16 ~ 53. 9. 15	

項 目	52 年 度 の 計 画														
	予 算 額	内 容													
② 国 内	9,436 千円	<table border="1"> <thead> <tr> <th>研 修 項 目</th> <th>研 修 機 関 名</th> <th>研 修 期 間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>畑 作</td> <td>北海道立十勝農業試験場</td> <td>52.6.4 ~ 53.3.1</td> </tr> <tr> <td>農業機械</td> <td>京 耶 大 学 教 学 部</td> <td>52.9.1 ~ 53.3.31</td> </tr> <tr> <td>病 害 虫</td> <td>叔 林 省 熱 帯 農 業 研 究 セ ン タ ー</td> <td>52.9.1 ~ 53.11.30</td> </tr> </tbody> </table>		研 修 項 目	研 修 機 関 名	研 修 期 間	畑 作	北海道立十勝農業試験場	52.6.4 ~ 53.3.1	農業機械	京 耶 大 学 教 学 部	52.9.1 ~ 53.3.31	病 害 虫	叔 林 省 熱 帯 農 業 研 究 セ ン タ ー	52.9.1 ~ 53.11.30
研 修 項 目	研 修 機 関 名	研 修 期 間													
畑 作	北海道立十勝農業試験場	52.6.4 ~ 53.3.1													
農業機械	京 耶 大 学 教 学 部	52.9.1 ~ 53.3.31													
病 害 虫	叔 林 省 熱 帯 農 業 研 究 セ ン タ ー	52.9.1 ~ 53.11.30													

項 目	52 年 度 の 計 画													
	予 算 額	内 容												
イ. 中期研修	33,029 ^{千円}	<table border="1"> <thead> <tr> <th>研 修 名</th> <th>研修員数</th> <th>研 修 期 間</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プロジェクトリーダーコース 農業一般コース 農業士本コース</td> <td>40名</td> <td>52. 5. 16 ~ 57. 7. 27</td> <td>所属先別内訳 { 国家公務員 15名 地方公共団体等 25名</td> </tr> <tr> <td>林業コース</td> <td>13名</td> <td>52. 9. 12 ~ 52. 11. 26</td> <td>所属先別内訳 { 国家公務員 5名 地方公共団体等 8名</td> </tr> </tbody> </table>	研 修 名	研修員数	研 修 期 間	備 考	プロジェクトリーダーコース 農業一般コース 農業士本コース	40名	52. 5. 16 ~ 57. 7. 27	所属先別内訳 { 国家公務員 15名 地方公共団体等 25名	林業コース	13名	52. 9. 12 ~ 52. 11. 26	所属先別内訳 { 国家公務員 5名 地方公共団体等 8名
研 修 名	研修員数	研 修 期 間	備 考											
プロジェクトリーダーコース 農業一般コース 農業士本コース	40名	52. 5. 16 ~ 57. 7. 27	所属先別内訳 { 国家公務員 15名 地方公共団体等 25名											
林業コース	13名	52. 9. 12 ~ 52. 11. 26	所属先別内訳 { 国家公務員 5名 地方公共団体等 8名											
ロ. 研修映画 の作成	10,172	1. 規 格	カラー 16mm (2巻) 30分 日本語版											
		2. タイトル	熱帯作物の栽培技術											
		3. 内 容	熱帯における主要作物の栽培技術の実態を現地において撮影取材を行い、これを 農業関係協力専門家の養成研修の目的に用いる。											
		4. 取 材 地	インドネシア、タイ。											

(参考) I. 昭和52年度 農林水産関係予算

(1) 農林業協力費

(52. 1. 19 最終)

項 目	51年度予算額				52年度予算額				52年度予算内訳 ()内は51年度
	総計	前年度比	農林業分	前年度比	総計	前年度比	農林業分	前年度比	
(項) 農林業協力費	2,464,967	111	同	左	2,751,664	112	同上		
1. 調査回遊費(必要経費)	200,604	89			252,892	126		調査回遊費 { 事前調査 4件 実施調査 5件(日数、人員増大) 実施設計調査 2件 巡回指導 12件(機械修理を含む) 計画打合せ 2件(日数、人員増大) エバリュエーション調査 2件 基礎調査 { 計画基準 1件 開発基礎 2件 開発実態 1件	
(1) 調査回遊費	193,184	89			245,929	127			
(2) 調査旅費	73,918	72			84,373	115			
(3) 現地調査費	14,076	73			15,646	111			
(4) 資料印刷費	2,877	79			3,377	117			
(5) 板金費	90,738	117			129,418	143			
(6) 報告書作成費	11,575	79			12,615	109			
(2) 邦外実地調査	7,420	88			6,963	94		①プロジェクト運営費(継続16件、新規5件、計21件) ②基礎調査準備計画費4件	
(3) 実地計画費	7,420	88			6,963	94		③プロジェクト支援費 → 0	
2. 専門家派遣費(必要経費)	1,122,815	111			1,297,772	116		(継続16件、新規5件、(ネシア系畜、マレーシア水管理、タイかんがい、バンラ園芸、ネシアポゴール) 計21件)	
(1) 派遣調査費	671,827	112			706,813	105		専門家 164人、長期調査員 16人(邦内費等経費の40%)	
(2) 揚子機材費	30,498	74			29,729	98			
(3) 現地業務費	73,488	112			92,060	125		①単価10%UP ②最貧国対策費、4プロジェクト(ネパール、バンラ園芸、バンラ普及、ガニア)計480万円	
(4) プロジェクト経費増補費	20,094	-			128,052	637		①応急対策費10%UP ②エチオピア整備費、5プロジェクト(マレーシア水管理、タイかんがい、バンラ園芸、ネシア畜産、カガマン)計1億円	
(5) 所屬者給与増補費	296,820	113			313,399	106			
(6) 連絡会議旅費	9,990	127			8,297	83			
(7) 一時滞在旅費	19,357	132			18,536	96			
(8) 子女帰国旅費	741	192			686	93			
(9) 既得者呼寄せ旅費	0	-			0	-			
3. 機材供与費(必要経費)	1,141,550	136			1,200,900	105		継続14件、新規5件、計19件分	
(1) 機材供与費	1,141,550	136			1,200,900	105			

(2) 開発技術協力費

(52. 1. 19 系統)

項 目	51 年度予算額				52 年度予算額				52 年度予算内訳
	総計	前年度比	森林区分	前年度比	総計	前年度比	森林区分	前年度比	
(項) 開発技術協力費	586,158	111	413,970	100	646,385	110	454,439	110	
1. 調査団派遣に 必要経費	83,639	109	58,308	103	74,829	89	54,594	93	事前調査 (6) 4 件 内 炭 葉 } 2 件 実施調査 (2) 2 件 } 1 件 実施設計調査 (1) 1 件 } 1 件 巡回指導 (3) 3 件 } 3 件 計画打合せ (3) 3 件 } 2 件 計 (15) 14 } 9 件
(1) 調査団派遣経費	79,559	110	56,349	104	70,818	91	52,060	92	
(目) 調査旅費	41,737	92	28,537	-	35,110	84	25,295	89	
(目) 現地調査費	6,143	92	4,405	-	4,926	80	3,720	84	
(目) 資機材搬送費	1,155	57	835	-	1,023	88	748	90	
(目) 技術費	22,146	218	16,768	-	22,592	102	17,107	102	
(目) 報告書作成費	3,378	97	5,804	-	7,167	85	5,210	90	
(2) プロジェクト 実施経費									
(目) 実施計画費	4,080	98	2,459	85	4,011	98	2,534	103	
2. 専門家派遣業務 に必要経費	330,819	127	210,612	102	397,756	120	288,010	137	
(目) 派遣旅費	186,625	129	118,724	101	210,877	130	152,053	128	専門家 (15) 5 人, 長期調査 (16) 16.
(目) 携行機材費	15,640	89	8,758	85	13,238	85	7,483	85	
(目) 現地業務費	34,494	135	22,502	103	43,349	126	27,005	120	プロジェクト数 (17) 10 件, 単価アップ 10%, 炭食圃対策費 / プロジェクト(マダガスカル 高産)
(目) プロジェクト 基礎整備費	-	-	-	-	24,176	-	24,176	-	府越対策費 31 件. (タイネ, タイとろもろし, マダガスカル 高産) フィリピン (フィリピン, パンバングン)
(目) 所屬光給与 補助金経費	92,820	132	59,500	107	102,490	110	73,763	124	
(目) 連絡会議費	-	-	-	-	2,445	-	2,445	-	5 プロジェクト
(目)	942	53	942	53	898	95	898	95	
(目) 子女対峙旅費	298	94	181	87	283	95	187	95	
(目) 配膳者 呼寄せ旅費	-	-	-	-	-	-	-	-	
3. 機材供与に 必要経費									
(目) 機材供与費	171,700	90	144,500	96	173,800	101	111,335	71	(19) 10 プロジェクト

(3) 開発協力費

(52. 1. 17 最終)

項 目	51 年度予算額				52 年度予算額				52 年度予算内訳
	総計	前年比	森林業務	前年比	総計	前年比	森林業務	前年比	
(項) 開発協力費	414,240	109	242,461	107	464,163	112.1	276,298	114.0	
基礎調査等の調査に必要経費	338,843	102	167,064	94	369,004	108.9	180,829	108.2	
(1) 調査団派遣経費	338,843	102	167,064	94	369,004	108.9	180,829	108.2	
(目) 調査旅費	88,641	77	57,136	76	82,927	94	53,592	94	8%節約に基づく減
(目) 現地調査費	16,581	81	12,353	79	16,237	98	11,367	92	
(目) 資機材搬送費	2,126	78	1,395	75	1,956	92	1,283	92	
(目) 技術費	217,671	123	89,212	116	248,114	114	107,330	120.3	単価アップ 443,900円→492,200円 作業期間増(試験日増等) 開発計画 2.30 → 2.50, 開道インフラ施工 35 → 40 施工業関連インフラ分印刷費増、設備費等経費増、15件分報告書0 → 1,818円
(目) 報告書作成費	12,128	81	5,663	76	18,207	150.1	6,056	107	
(目) 国内旅費	1,696	79	1,305	77	1,563	92	1,201	92	
(2) プロシテ外実施経費	0	-	0	-	0	-	0	-	
(目) 実施計画費	0	-	0	-	0	-	0	-	
又、技術指導に必要経費	75,397	153	75,397	153	95,459	127	95,459	127	在勤基本俸の13%単価アップ、給食費単価5%アップ、長期技術指導1件→2件
(目) 派遣諸費	36,290	138	36,290	138	53,945	148	53,945	148	
(目) 携行機材費	2,040	102.0	2,040	102.0	1,877	92	1,877	92	
(目) 現地業務費	1,171	100	1,171	100	1,288	110	1,288	110	単価10%アップ, 61,600円 → 67,760円
(目) 受入諸費	17,791	107	17,791	107	18,902	106	18,902	106	現地指導技術者研修 25人 → 25人 前年度並、単価アップ
(目) 所屬光給与補てん経費	18,105	370	18,105	370	19,647	109	19,647	109	

(4) 開発調査費

(52.1.19 最終)

項目	52年度予算額				52年度予算額				52年度予算内訳
	総計	前年度比	森林業分	前年度比	総計	前年度比	森林業分	前年度比	
	円	%	円	%	円	%	円	%	
(頃) 開発調査費	4,080,341	143	449,639	23.2	5,519,948	135	700,433	155	1. 調査件数について 前年度件数 52年度件数 森林資源開発調査 事前調査 2件 → 5件 実地調査 6 → 7 林業資源調査 1 → 1 水産資源調査 4 → 5 2. 技術費 (1) コンサルタント報酬の単価のアップが認められる。 単価 443,900円 → 492,200円 (2) 測量費関係 林業資源調査 解析費 5,000,000円 → 10,000,000円 現地判計 26,000,000円 (新規増)
1. 調査団派遣に必要経費	3,510,499	167	449,639	23.2	4,321,919	123	700,433	155	
(回) 調査旅費	448,401	129	74,547	12.2	466,507	104	93,311	117	
(回) 現地調査費	228,964	203	119,333	67.2	314,693	137	202,175	169	
(回) 資料材購送費	100,302	121	7,261	244	108,455	108	9,206	126	
(回) 技術費	2,539,466	180	213,284	234	3,230,615	127	358,108	167	
(回) 報告書作成費	145,355	123	15,001	174	146,858	101	18,220	121	
(回) 回函旅費	11,121	126	1,443	112	11,293	101	1,621	112	
(回) 派遣旅費	0	-	0	-	0	-	0	-	
(回) 所屬先給与補てん経費	36,890	133	13,770	651	42,798	116	17,772	129	
2. その他	570,345	%	0	-	1,197,029	207	0	-	

農業協力費

(単位 千円)

項 目	50年度予算額		51年度				52年度							
			要 求 額		予 算 額		一 次 案 (51.6.15)		二 次 案 (51.6.30)		三 次 案 (51.8.2)			
	総 計	農林業計	総 計	農林業計	総 計	農林業計	総 計	農林業計	総 計	農林業計	総 計	農林業計		
	金額	金額	金額	伸率	金額	伸率	金額	伸率	金額	伸率	金額	伸率		
(項) 農業協力費	2,229,113		2,159,089	124	2,464,969	111		3,390,420	157	3,008,083	122		2,953,762	119
1 調査団派遣に必要経費	226,270		267,414	118	200,604	89		306,442	153	305,946	153		272,469	146
(1) 調査団派遣経費	217,870		258,655	119	193,184	89		289,335	150	289,335	150		275,858	143
(目) 調査旅費	103,026		111,350	108	73,919	72		112,700	152	112,700	152		99,698	135
(目) 現地調査費	19,263		17,839	93	14,076	73		17,974	128	17,974	128		17,974	128
(目) 資料材料購送費	3,658		3,530	97	2,877	79		3,698	129	3,698	129		3,698	128
(目) 技術費	79,296		111,217	140	90,758	117		140,672	155	140,672	155		140,672	155
(目) 報告著作成費	14,627		16,749	101	11,575	79		14,291	123	14,291	123		13,816	119
(2) プロジェクト実施経費	8,400		8,729	104	7,420	88		17,107	231	16,611	224		16,611	224
(目) 実施計画費	8,400		8,729	104	7,420	88		17,107	231	16,611	224		16,611	224
2 専門家を必要経費	1,013,843		1,148,674	113	1,122,315	111		1,536,978	137	1,371,887	122		1,331,043	119
(目) 派遣諸費	597,192		673,716	113	671,827	112		859,655	128	761,312	118		721,800	117
(目) 携行材料費	32,384		35,380	111	30,478	94		37,536	123	32,632	107		32,532	107
(目) 現地業務費	33,398		93,582	112	73,488	112		126,351	172	99,996	136		99,996	136
(目) 所屬先給与補てん費	268,487		302,840	113	296,820	111		344,535	116	313,399	106		313,399	106
(目) 連絡会議旅費	12,055		15,764	127	7,990	83		10,118	101	9,656	97		9,019	90
(目) 一時帰国旅費	19,364		25,645	132	19,357	100		20,443	106	20,443	106		20,148	104
(目) 子女呼寄せ旅費	963		1,847	192	741	77		821	111	746	101		746	101
(目) プロジェクト実施経費					29,074			134,052	149	129,624	150		130,624	150
(目) 配偶者一時呼寄せ旅費					-			3,067	-	3,199	-		3,199	-
3 技術供与に必要経費	988,000		1,342,000	136	1,441,560	115		1,547,000	136	1,330,250	117		1,330,250	117

2. 昭和51年度農林水産業関係事業費繰越内訳表

農業協力費

51年度繰越額(プロジェクト別) No.1

プロジェクト名	調査費			技術費			報告書作成費			合計			備考
	明許	明許	明許	明許	要領	計	明許	要領	計	明許	要領	計	
<事前調査>													
西南アジアプロ7A1	—	—	—	—	—	—	190	—	190	190	—	190	
<実地調査>	3,459	460	—	—	—	—	1,119	—	1,119	5,038	—	5,038	
インドネシアボゴール	3,459	460	—	—	—	—	384	—	384	4,303	—	4,303	
マレーシア水管理	—	—	—	—	—	—	735	—	735	735	—	735	
<実地設計調査>													
タイカ人がい農業開発	—	—	—	—	7,419	7,419	1,007	—	1,007	1,007	7,419	8,426	
<計画打合せ調査>	9,886	1,069	115	—	—	—	1,125	—	1,125	12,195	—	12,195	
インドネシア板委開発	—	—	—	—	—	—	442	—	442	442	—	442	
ブラジル農業研究協力	3,720	386	30	—	—	—	150	—	150	4,286	—	4,286	
インドネシア南スラウエシ	1,928	282	40	—	—	—	150	—	150	2,400	—	2,400	
イラン研究協力	2,713	229	15	—	—	—	133	—	133	3,090	—	3,090	
タイ家畜衛生	1,625	172	30	—	—	—	250	—	250	1,977	—	1,977	
<巡回指導>	—	—	—	—	—	—	1,504	—	1,504	1,504	—	1,504	
ブラジルリベイラ	—	—	—	—	—	—	308	—	308	308	—	308	
ネパール農業開発	—	—	—	—	—	—	302	—	302	302	—	302	
研究協力分野	—	—	—	—	—	—	314	—	314	314	—	314	
タイ板委開発	—	—	—	—	—	—	580	—	580	580	—	580	
<基礎調査>	—	—	—	—	—	—	1,195	—	1,195	1,195	—	1,195	
先進国実地調査	—	—	—	—	—	—	1,195	—	1,195	1,195	—	1,195	
計	13,345	1,529	115	—	7,419	7,419	6,140	—	6,140	21,129	7,419	28,548	

農業協力費

51年度繰越額 (機材供与費-プロジェクト別) No. 2

プロジェクト名	型 概		明 許		
	金額	備考	金額	備 考	計
インドネシア 養蚕開発	214		2,345		2,559
タンザニア キリマンジャロ	-		35,023		35,023
ラオスタゴン 養蚕開発	5,808		6,100		11,908
ブラジルリベイラ養蚕開発	57,200		1,559		58,759
ネパール 養蚕開発	-		117,000		117,000
インドネシア ランポン	90,280		17,721		108,001
バングラ 養蚕普及	-		92,500		92,500
イラン シスタン	-		38,050		38,050
フィリピン カガマン	60,700		5,300		66,000
インドネシア 南スラウェシ	-		26,000		26,000
インドネシア 養蚕	-		51,000		51,000
韓国 養蚕	-		59,500		59,500
タイ 家畜衛生	-		20,000		20,000
ブラジル 養蚕	-		80,000		80,000
小 計	217,202		552,098		769,300
(追加機材分)					
インドネシア ランポン	-		15,000		15,000
バングラ 養蚕普及	-		60,000		60,000
インドネシア 養蚕開発	-		60,000		60,000
ブラジル リベイラ	-		50,000		50,000
タイ 家畜衛生	-		30,000		30,000
ブラジル 養蚕	-		60,000		60,000
小 計	217,202		275,000		275,000
合 計	217,202		827,098		1,044,300

農業協力費総合計

No. 1 + 2 = 2,9549 + 1,044,300 = 1,072,548

開発技術協力費 No.1

51年度繰越額(プロジェクト別)

プロジェクト名	調査旅費	現地調査費	機材 運送費	技 術 費			報告書作成費			合 計			備 考
	明 許	明 許	明 許	明 許	計 画	計	明 許	翌 債	計	明 許	翌 債	計	
＜事前調査＞													
ビルマ畑作	—	—	—	—	—	—	680	—	680	680	—	680	
東南アジア林業	—	—	—	—	—	—	561	—	561	561	—	561	
南太平洋(ミクロネシア 海峽群島)	3,136	506	30	—	—	—	1,855	—	1,855	5,527	—	5,527	
小 計	3,136	506	30	—	—	—	3,096	—	3,096	6,768	—	6,768	
＜実施調査＞													
フィリピン飼料作物	3,705	506	30	—	—	—	1,855	—	1,855	6,096	—	6,096	
＜実施設計＞													
タイとうもろこし2次	5,583	1,656	398	4,937	—	4,937	1,984	—	1,984	14,588	—	14,588	
＜巡回指導＞													
マダガスカル高産	6,136	534	30	—	—	—	656	—	656	7,356	—	7,356	
タイエビ養殖	1,210	241	—	—	—	—	—	—	—	1,451	—	1,451	
小 計	7,346	775	30	—	—	—	656	—	656	8,807	—	8,807	
合 計	20,070	3,473	488	4,937	—	4,937	7,591	—	7,591	36,559	—	36,559	

51年度繰越額（機材供与費 - プロジェクト別）

開発技術協力費

No. 2

プロジェクト名	翌 債		明 許		
	金額	備考	金額	備考	計
インドネシア ランポン	59,321		8,679		68,000
タイ 国 えび 養殖	-		27,400		27,400
フィリピン パンダバンガン	12,755		3,245		16,000
タイ 国 どうもろこし	-		25,000		25,000
マダガスカル 畜産	-		8,500		8,500
小 計	72,076		69,824		141,900
＜追加機材分＞					
フィリピン パンダバンガン	-		90,000		90,000
タイ 国 どうもろこし	-		40,000		40,000
小 計			130,000		130,000
合 計	72,076		199,824		271,900
開発技術協力費繰越総計			236,383		308,459

技術協力センター費

51年度繰越額 (プロジェクト別)

プロジェクト名	調査旅費	現地調査費	資機材 購置費	技 術 費			報告書作成費			合 計			備 考
	明 許	明 許	明 許	明 許	翌 債	計	明 許	翌 債	計	明 許	翌 債	計	
<事前調査> フェニジア国立 漁業センター	—	—	—	—	—	—	334	—	—	334	—	334	

技術協力センター費

51年度繰越額 (機材供与費 - プロジェクト別)

プロジェクト名	翌 債		明 許		計
	企 額	備 考	企 額	備 考	
シリア 鶏飼センター	9,435		5,565		15,000
マルー水産加工センター	—		40,000		40,000
スリランカ沿岸水産	—		20,000		20,000
計	9,435		65,565		75,000

開発協力費

51年度繰越額(プロジェクト別)

プロジェクト名	調査費		資機材 搬送費	技術費			報告書作成費			合計			備 考
	明許	明許		明許	明許	翌債	計	明許	翌債	計	明許	翌債	
ソロモン林業開発基礎1次	-	-	-	-	-	-	508	-	508	508	-	508	
ブラジル林業開発基礎2次	-	-	-	-	-	-	1,138	-	1,138	1,138	-	1,138	
インドネシア 中部スラウェシ林業2次	-	-	-	-	-	-	1,002	-	1,002	1,002	-	1,002	
中部スラウェシ林業計画調査	-	-	-	-	18,717	18,717	-	-	-	-	18,717	18,717	
ブラジル 渡開計画調査5次	31,262	4,724	350	7,624	-	7,624	2,990	-	2,990	46,950	-	46,950	
ブラジル 渡開計画打合せ	2,400	400	-	-	-	-	-	-	-	2,800	-	2,800	
投融資 ザイル・マダガスル	2,570	572	-	-	-	-	-	-	-	3,142	-	3,142	
投融資 ニューゼーランド ニューカレドニア	2,604	380	-	-	-	-	-	-	-	2,984	-	2,984	
インドネシア 南スマタラ森林造成開発計画	5,255	556	72	28,117	-	28,117	-	-	-	35,000	-	35,000	
合計	45,091	6,632	422	35,741	18,717	54,458	5,938	-	5,938	93,824	18,717	112,541	

開発調査費

51年度繰越額(プロジェクト)

プロジェクト別	調査旅費		現地調査費		夜間村時送費		技術費			報告書作成費			台 計			備 考
	明 許	明 許	明 許	明 許	明 許	型 債 計	明 許	型 債 計	明 許	型 債 計	明 許	型 債 計				
ホンジュラス事前						2,677	2,677	637	764	1,401	637	3,441	4,078			
サントメガボン 1/5								4,237	-	4,237	4,237	-	4,237			
タイチヤトピア 実施	1,362	107	32	1,130	44,059	45,189	197	2,347	2,544	2,828	46,406	49,234				
コロンビヤ 林業 事前							984	-	984	984	-	984				
北イエメン 漁業							890	-	890	890	-	890				
ギニアカンカン							1,613	-	1,613	1,613	-	1,613				
バンブラカ かい							940	-	940	940	-	940				
ナイジェリア 農業 実施	2,030	150	201	-	35,643	35,643	291	2,970	3,261	2,672	38,613	41,285				
ペルー 中部 漁業 基地 1/5							2,149	-	2,149	2,149	-	2,149				
フィリピン 殺物 410 実施						32,910	32,910	60	5,295	5,355	60	38,205	38,265			
PNG 漁業 基地 1/5							3,790	-	3,790	3,790	-	3,790				
簿 固 干 拓 事前							1,789	-	1,789	1,789	-	1,789				
スリランカ インギニミア 1次							702	-	702	702	-	702				
スリランカ インギニミア 1/5 2次	4,062	447	300	-	25,782	25,782	512	3,238	3,750	5,321	29,020	34,341				
インドネシア 森林 資源 2次	948	172	112		30,414	30,414	-	860	860	1,232	31,274	32,506				
ギルバート 水産 資源 1/5	-	-	-	-	-	-	651	-	651	651	-	651				
フィリピン 水産 資源 1/5					1,414	1,414	-	2,357	2,357	-	3,771	3,771				
フィリピン ボホール 事前							1,324	-	1,324	1,324	-	1,324				
フィジー 森林 造成 (実施)							720	-	720	720	-	720				
インドネシア 森林 資源 1次					1,514	1,514	349	-	349	349	1,514	1,862				
計	8,402	876	645	1,130	174,413	175,543	2,134	17,531	39,665	32,887	192,244	225,131				

3. 昭和52年度管理費内訳表

52. 4. 25

	通知額 千円	残存分 千円	同左配分額			備考
			計画調査部 千円	農林開発部 千円	林業開発部 千円	
農林業協力業務経費	3,787	3,787	636 (1,136)	1,772 (2,272)	179 (379)	(注) 貸金、通信探検 図書購入費、備忘費 は、集中管理 ・ () 内金額と() 外金額との差額は保留額。 ・ 保留額は、計画調査部より500千円、 農林開発部より2,500千円、 林業開発部より200千円とする。 ・ 保留額の実行は、下半期以降、 各部からの要請に基づいて行う。
開発技術業務経費	1,487	979	490	-	489	
開発振融資業務経費	3,861	1,737	174	782	781	
開発協力業務経費	686	309	109	100	100	
センター協力業務経費	-	222	-	-	222	
開発調査業務経費	-	349	249	-	100	
農林業協力実施計画費	6,706	6,706				
(1) プロジェクト運営費	5,135	5,135	-	3,135 (5,135)	-	
(2) 基礎調査準備計画費	1,571	1,571	1,571	-	-	
開発技術協力実施計画費	2,262	2,262				
(1) プロジェクト運営費	1,541	1,541	-	771	770	
(2) 調査準備計画費	721	721	-	360	361	
今 日 制 当 額 (保 留 額)		13,151 (△3,200)	3,229 (△500)	6,920 (△2,500)	3,002 (△200)	
合 計		16,351	3,729	7,420	3,202	

